

ビック東海の今後の成長戦略について

個人投資家向け会社説明会

【 JASDAQ／証券コード：2306 】

もっとつながる明日へ
— Total Communication —



2010年2月26日

株式会社 ビック東海(2306)

代表取締役社長 早川 博己



ビック東海の企業概要

2009年12月31日現在

■ご挨拶

当社グループは、「もっとつながる明日へ」(TotalCommunication)を企業スローガンに掲げ、お客様からの期待・信頼と私達の放送・通信・情報の総合力を活かした、豊かで安心できる情報社会づくりを目指した事業を展開しております。

当社グループの情報技術と通信ネットワーク、データセンターなど現代社会の情報通信基盤を担うプラットフォーム、システムインテグレーターとしての技術力・開発力、CATV事業者及びインターネットサービスプロバイダーとしての展開力を結集し、放送・通信・情報サービスによる『トータルコミュニケーション』をワンストップで提供しています。

また、CSR(企業の社会的責任)を果たすべく、更なるコンプライアンスの徹底と株主様や地域社会などの全てのステークホルダーの満足と信頼を得られるよう、事業の持続的な発展を目指して参ります。

社名	株式会社ビック東海 (VIC TOKAI CORPORATION)
設立	1977年(昭和52年)3月18日
資本金	22億1,581万円
発行済株式総数	39,663,800株
株主数	3,097名(内 個人他 2,938名)9月30日時点
連結子会社	(株)いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ(千葉県市原市) 厚木伊勢原ケーブルネットワーク(株) (神奈川県厚木市) 熊谷ケーブルテレビ(株) (埼玉県熊谷市) (株)イースト・コミュニケーションズ (千葉県千葉市緑区) (株)御殿場ケーブルメディア (静岡県御殿場市) エルシーブイ(株) (長野県諏訪市) (株)倉敷ケーブルテレビ (岡山県倉敷市)
従業員数	連結 1,599名 単体 1,235名

沿革(当社の歩み)

1977年 3月	設立
1982年 4月	現 株式会社ザ・トーカイより情報関連事業の統合を図るべく、システム機器販売部門の業務を継承
1983年 5月	ソフトウェアの開発、受託及び販売を開始
1987年 6月	現 株式会社ザ・トーカイより情報処理業務を継承するとともに、通商産業省(現 経済産業省) 「情報処理サービス業情報システム安全対策実施事業所認定」を継承
1996年 6月	株式会社ザ・トーカイと共同でインターネット事業を開始
2001年 3月	経済産業省より「特定システムオペレーション企業等認定」(SO認定)を取得する
2001年 4月	ADSLインターネット接続サービスを開始
2001年 8月	一次プロバイダ(日本インターネットエクスチェンジ(株))と接続を開始
2002年 3月	経済産業省の「システムインテグレータ」に認定
2002年 6月	JASDAQに株式を上場
2005年10月	トーカイ・コムと合併、CATV事業及びブロードバンド事業を継承
2006年 2月	J-Stock銘柄※に選定
2006年 9月	自社設備によるCATV-FTTHサービスを開始
2008年 4月	第2データセンター稼動開始
2009年12月	エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビを子会社化

事業の紹介

■放送・通信・情報サービスの3つの事業を一社で行っている国内唯一の企業です。

CATV事業

CATVによるデジタル放送、CATV網を活用した
超高速インターネット・光電話などの提供



通信サービス事業

家庭向けインターネットプロバイダー事業、法人向け
通信キャリア事業



情報サービス事業

ソフトウェア開発事業、システムインテグレーション事業、
データセンター事業



ビック東海の情報通信基盤

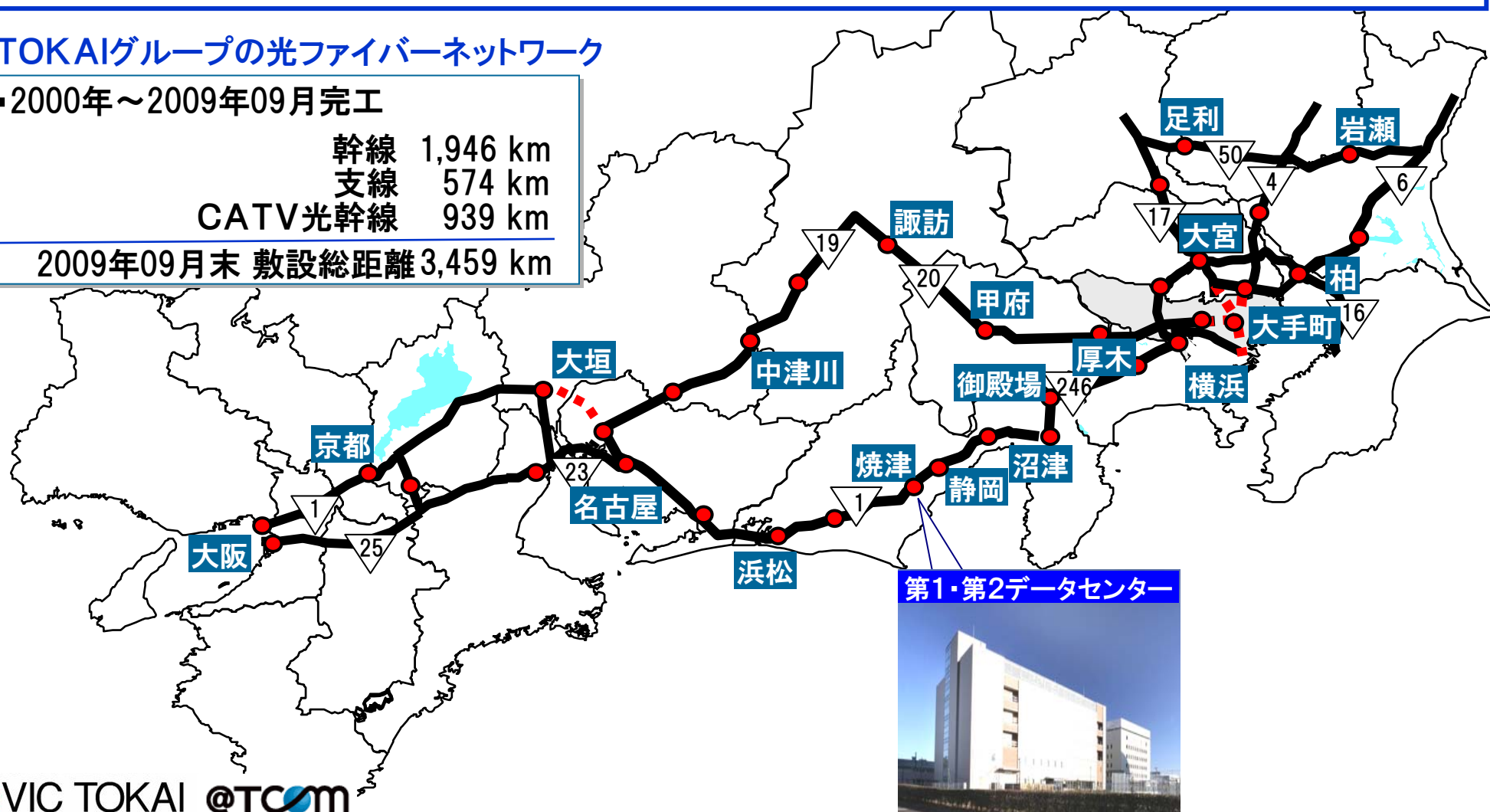
データセンターと東京-大阪間光幹線網を保有し、これらを事業基盤として、個人から企業のお客様まで幅広くサービスの提供を行っております。

● TOKAIグループの光ファイバーネットワーク

— 2000年～2009年09月完工

幹線	1,946 km
支線	574 km
CATV光幹線	939 km

2009年09月末 敷設総距離 3,459 km



当社FTTHサービスの紹介

FTTH

(Fiber to the homeの略)

光ファイバーを活用した超高速インターネット

CATV—FTTH

CATV光幹線網と各家庭までの
光アクセス回線を自社で保有し、
NTTと同様の超高速インターネット
および光電話等のサービスを行う



ISPとしてのFTTH (通信サービス事業)

NTTやKDDIなど通信キャリアと
プロバイダー(ISP)として接続し、
超高速インターネットのサービスを
行う (東京、神奈川、埼玉、千葉
の関東エリア中心)



2010年3月期第3四半期の業績

2010年3月期第3四半期決算の業績(連結)

(単位:百万円)

	実績	前年同期	前年同期比
売上高	30,258	27,599	109.6%
営業利益	3,744	2,777	134.8%
経常利益	3,524	2,559	137.7%
四半期純利益	1,931	1,375	140.4%
1株当たり純利益	51.90円	34.62円	149.9%

※エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビを含んでおりません。

2010年3月期第3四半期決算の業績(連結)

(単位: 百万円)

	CATV 事業	通信サービス 事業	情報サービス 事業	その他	消去又は 全社	連結
売上高	10,669	11,174	8,519	19	△ 124	30,258
(前年同期比)	(112.0%)	(105.7%)	(112.2%)	(98.6%)	—	(109.6%)
営業利益	1,221	2,622	664	16	△ 780	3,744
(前年同期比)	(124.3%)	(121.3%)	(183.7%)	(97.7%)	—	(134.8%)

※各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高が含まれております。

※エルシーバイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビを含んでおりません。

2010年3月期第3四半期累計 連結(件数動態)

(単位:千件)

通信			09/12月期		
			期首件数	純増件数	期末件数
CATV	FTTH		56	21	76
	インターネット		42	△ 5	37
	計		98	15	113
通信 サービス	ISP直販	FTTH	187	57	245
		ADSL	114	△ 16	98
		小計	302	41	343
	ホールセール		159	△ 21	138
	計		460	20	480
通信 合計			558	36	594

放送		09/12月期		
		期首件数	純増件数	期末件数
CATV放送		335	5	340

※エルシーバイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビを含んでおりません。

2010年3月期の業績予想

2010年3月期通期連結業績予想

5月公表時からの変更はございません。

(単位:百万円)

	予想	前期	前期比
売上高	42,900	38,195	112.3%
営業利益	5,100	4,502	113.3%
経常利益	4,700	4,235	111.0%
特別利益	70	396	17.7%
特別損失	250	302	82.6%
当期純利益	2,560	2,528	101.2%
※ 1株当たり純利益	68.99円	64.10円	107.6%
EBITDA	10,960	9,631	113.8%

※ 09年9月末発行済株式総数(自己株式を除く)を基に予想した数値であります。

2010年3月期 連結(件数動態)見通し

(単位:千件)

通信			07/3期	10/3期（見通し）			07/3期末 ～10/3期末
			期末件数	期首件数	純増件数	期末件数	純増件数
CATV	FTTH		4	56	34	90	86
	インターネット		75	42	37	79	4
	計		79	98	71	169	90
通信 サービス	ISP直販	FTTH	51	187	69	256	205
		ADSL	171	114	△ 21	93	△ 78
		小計	222	302	47	349	127
	ホールセール		171	159	△ 26	133	△ 38
	計		393	460	22	482	89
通信 合計			472	558	93	651	179

放送		07/3期	10/3期 (見通し)			07/3期末 ~10/3期末
		期末件数	期首件数	純増件数	期末件数	純増件数
CATV放送		300	335	187	522	222
(デジタル多チャンネル)		(61)	(80)	(49)	(129)	(68)

2010年3月期通期連結見通し 設備投資及び減価償却費

設備投資

74億円(前期比 1億円減)

■CATV	CATV—FTTH他	54億円
■通信サービス	通信設備	12億円
■情報サービス	データセンター設備他	8億円

減価償却費

52億円(前期比 6億円増)

※前期と比較するためリース投資及びその影響は含めておりません。

※エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビを含む。

連結業績の推移

5期連続 増収・増益(経常利益)達成の見通し

(単位:百万円)

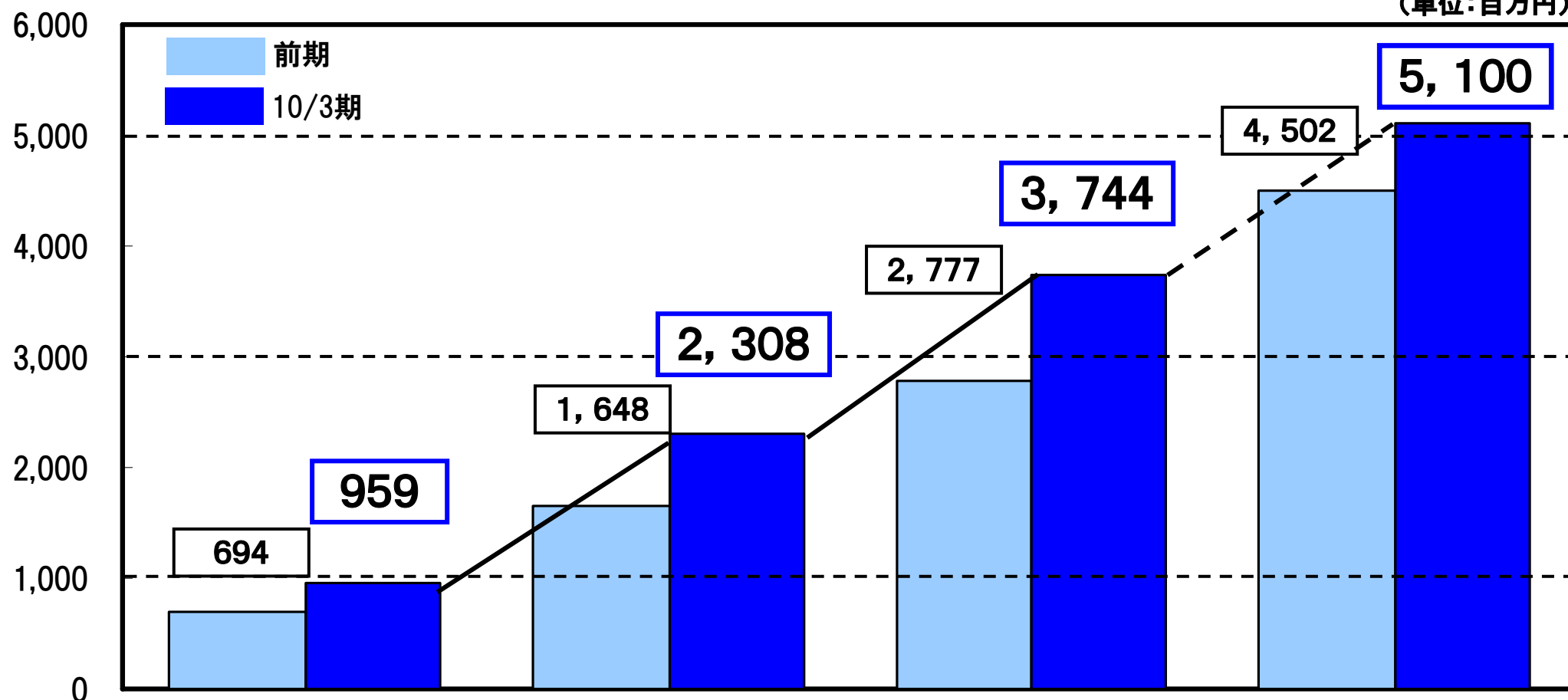
	06/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期 予想
売上高	23,436	33,924	35,089	38,195	42,900
営業利益	2,710	4,415	4,371	4,502	5,100
経常利益	2,567	4,196	4,223	4,235	4,700
当期純利益	2,594	4,112	2,333	2,528	2,560
1株当たり純利益	94.66円	102.74円	58.23円	64.10円	68.99円
配当金	17.50円	25.0円	25.0円	26.0円	30.0円

※05年10月 トーカイ・コムと合併。

※07/3期で青色繰越欠損金 解消。

2010年3月期 営業利益 進捗率

(単位:百万円)



進捗率

第1四半期
前年・実績

第2四半期累計
前年・実績

第3四半期累計
前年・実績

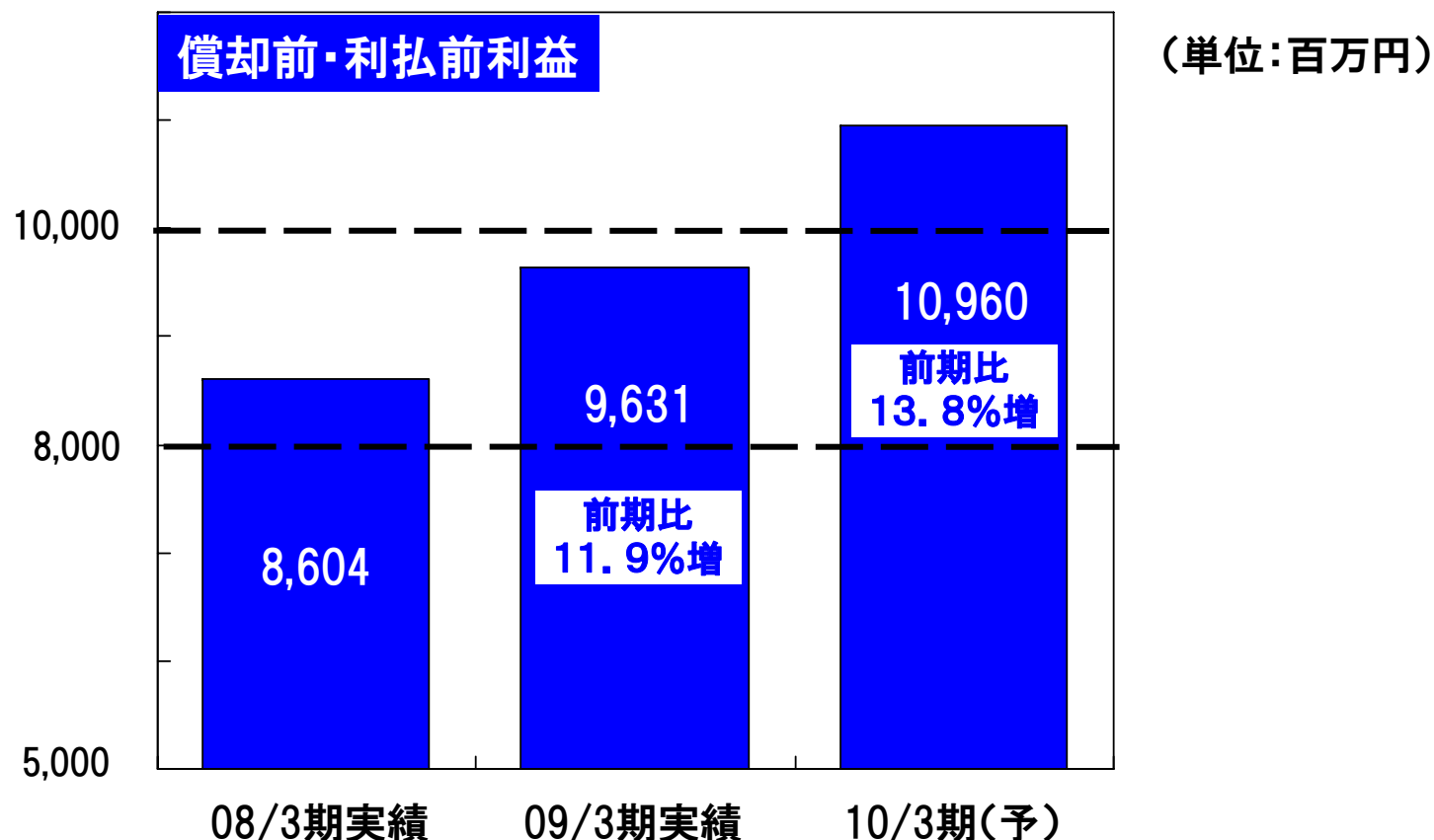
通期
前年・予想

10/3期	18.8%	45.3%	73.4%	100%
前期	15.4%	36.6%	61.7%	100%

償却前・利払前利益(EBITDA)の推移

■09年3月期は前期比11.9%増加

■10年3月期は前期比13.8%増加の見込み



CATV事業

事業領域の拡大

2009年12月 CATV事業者2社の株式を取得し、子会社化

エルシーバイ株式会社

- 本社所在地 : 長野県諏訪市
- 資本金 : 3億5,350万円
- 対象エリア : 長野県諏訪市、岡谷市、茅野市 他



株式会社倉敷ケーブルテレビ

- 本社所在地 : 岡山県倉敷市
- 資本金 : 4億円
- 対象エリア : 岡山県倉敷市、総社市、岡山市 他



CATVのサービスエリア

- CATV事業は、ビック東海及び子会社7社により広域に展開。6県にまたがるMSO（マルチプル・システム・オペレーター）として統括運営している。



CATV放送総加入世帯数

順位	事業社名	総加入世帯 (単位千)
1	(株)ジュピターテレコム	3,219
2	ジャパンケーブルネット(株)	1,110
3	(株)コミュニティネットワークセンター	854
4	(株)ベイ・コミュニケーションズ	661
5	イツツ・コミュニケーションズ(株)	633
6	(株)ビック東海グループ (M&A後)	516
6	スターキャット・ケーブルネットワーク(株)	514
7	(株)ビック東海グループ	337
8	(株)ケイ・キャット	335
9	(財)京阪神ケーブルビジョン	281
10	東京ベイネットワーク(株)	246
11	(株)ZTV	237
12	(株)CCJ	234
13	YOUテレビ(株)	176
14	(株)日本ネットワークサービス	165
15	(株)ケーブルテレビ足立	159



順位	事業社名	総加入世帯 (単位千)
16	(株)ふれあいチャンネル	156
17	(株)南東京ケーブルテレビ	155
18	山口ケーブルテレビジョン(株)	148
19	大分ケーブルテレコム	134
20	横浜ケーブルビジョン(株)	123
21	(財)東京ケーブルビジョン	122
22	宮城ネットワーク(株)	112
23	(株)長崎ケーブルメディア	111
24	(株)ケーブルテレビ富山	97
25	エルシーバイ(株)	96
26	姫路ケーブルテレビ(株)	93
27	沖縄ケーブルネットワーク(株)	92
28	(株)愛媛CATV	92
29	ケーブルテレビ徳島(株)	87
30	(株)倉敷ケーブルテレビ	83

※【参考】2009年10月発行 ケーブル年鑑2010

エルシーバイ株式会社(長野県諏訪市)

議決権所有割合：87.20%

ホームパス：94千件

放送：96千件

通信：24千件

(09年12月末)

サービスエリア：諏訪市・茅野市・岡谷市・下諏訪町など

諏訪大社(上社)



御柱祭(下社)



株式会社倉敷ケーブルテレビ(岡山県倉敷市)

議決権所有割合 : 98.3%

ホームパス : 199千件

放送 : 83千件

通信 : 21千件 (09年12月末)

サービスエリア : 倉敷市・総社市・玉野市など

美観地区



瀬戸大橋



ギャラクシー賞受賞

両社とも、自主放送制作を強みとするCATV事業者

国内の放送業界でも代表的な賞であるギャラクシー賞を、両社とも受賞。
ギャラクシー賞は放送批評懇談会が、日本の放送・文化に貢献した優秀な番組・団体などに贈る賞であり、40年以上の歴史を持つ番組制作における最高の賞。



高いコンテンツ制作能力を活かした、CATV事業の新たな成長戦略を展望

第44回ギャラクシー賞受賞作品

2006年4月1日～2007年3月31日

◆マイベストTV賞グランプリ
土曜ドラマ「ハゲタカ」(日本放送協会)

報道活動部門

選奨受賞
「平成18年7月豪雨」における
緊急報道特別番組及び一連の報道活動
(エルシーブイ)

第45回ギャラクシー賞受賞作品

2007年4月1日～2008年3月31日

◆第3回マイベストTV賞グランプリ
金曜ドラマ「流星の絆」(TBSテレビ)

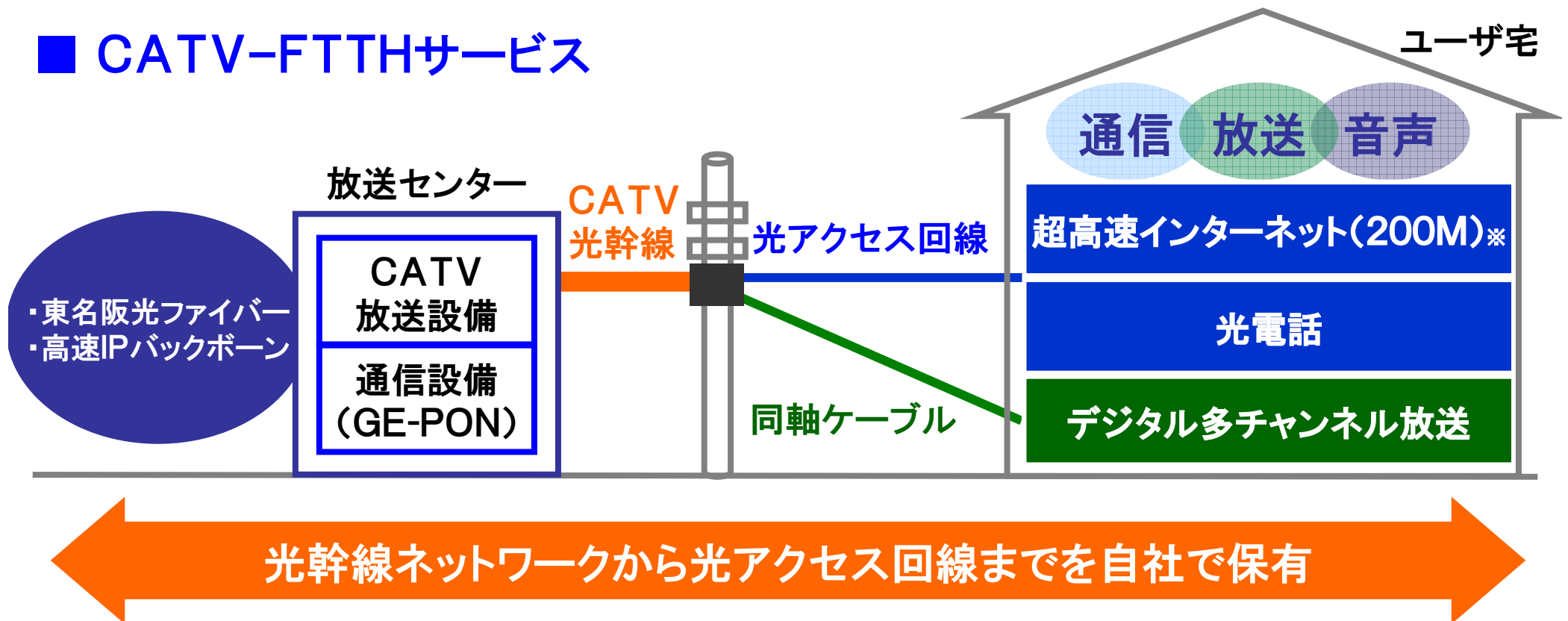
テレビ部門

特別賞受賞
くらしき百景 最終集
(倉敷ケーブルテレビ)

CATV-FTTHサービス

自社保有の事業資源と技術力を統合したビジネスモデル

■ CATV-FTTHサービス



高品質かつ多様な次世代サービスを提供可能。

当社CATVーFTTHのサービス

戸建用FTTHサービス (FTTHインターネット＋光電話)

VIC TOKAI	6,510円/月 (光電話含む)
NTT東日本	7,245円/月 (光電話含む)
NTT西日本	7,003.5円/月 (光電話含む)

・加入月無料、最大12ヶ月間特別料金 4,900円/月

集合用FTTHサービス (FTTHインターネット＋光電話)

VIC TOKAI	4,500円/月 (光電話含む)
NTT東日本	5,512.5円/月 (光電話含む)
NTT西日本	5,250円/月 (光電話含む)

・加入月無料、4戸以上加入見込「F4」料金

- 下り速度200Mbpsの超高速インターネットサービスを低価格で実現。
- 集合用サービスでも、光ファイバーを直接各戸に配線（光配線方式）。戸建と同様のスペックでのインターネットサービスを提供している。

固定電話・携帯電話間国内通話無料サービス

■ ソフトバンクテレコムと提携し、光IP電話サービス『ひかりdeトークS』を提供

◇ 加入者間では通話無料

◇ ソフトバンクグループのIP電話
ユーザーとの通話無料（BBフォン等）

◇ NTT加入電話の電話番号を継続利用

固定電話 ↔ 携帯電話間国内通話無料サービス『ホワイトコール24』



ひかりde
トークS
【ホワイト
コール24】

24時間通話無料

ソフトバンク
3G携帯電話
【ホワイト
プラン】

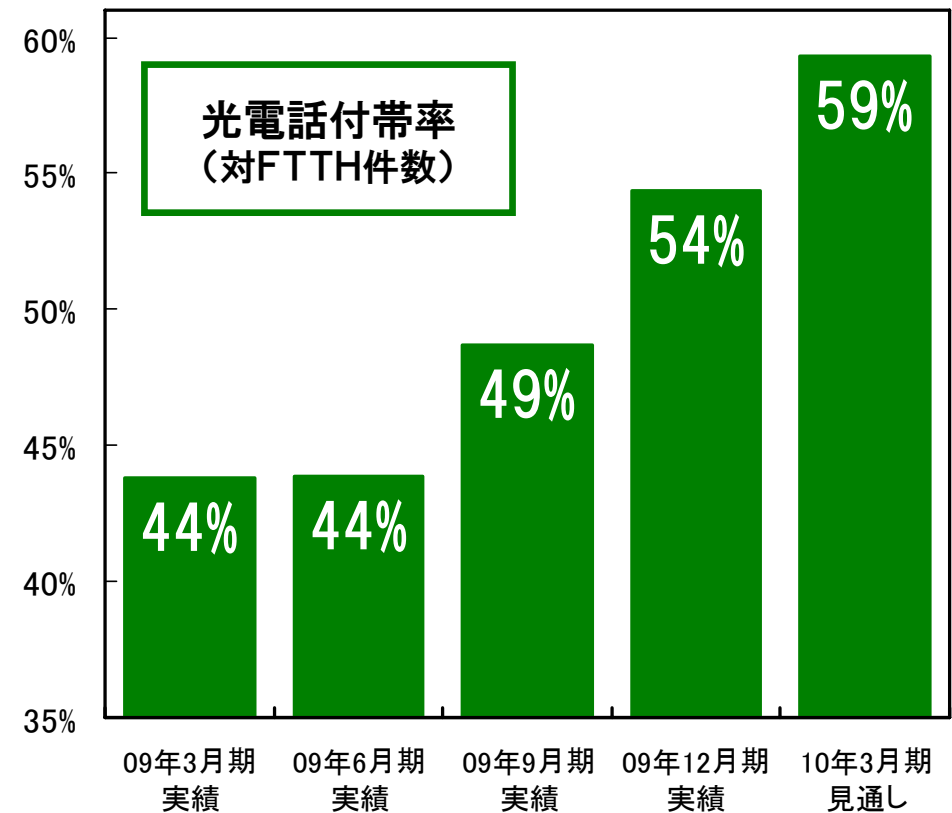
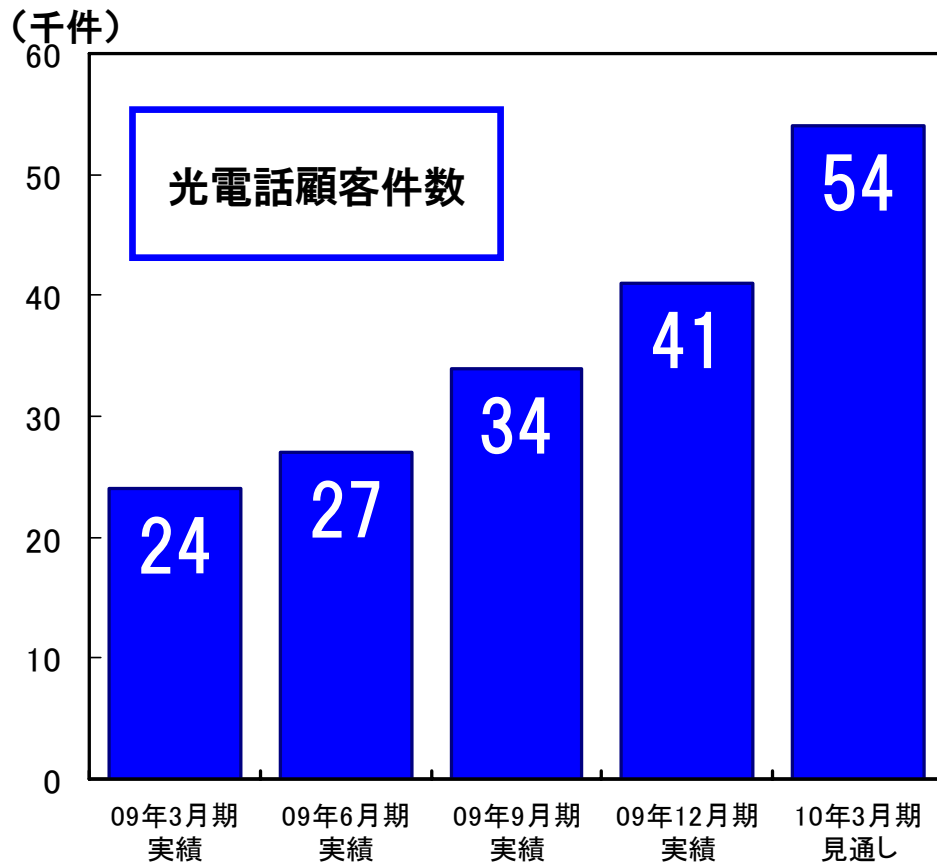


※「ひかりdeトークS」に登録された携帯電話番号最大10回線まで

光電話の普及促進

『ホワイトコール24』開始後、FTTH＋光電話のセットコースを推進し、同時加入率が急伸。光電話期末件数54千件を目指す。

ソフトバンクとの更なる連携強化により、通信事業の顧客基盤を確立する

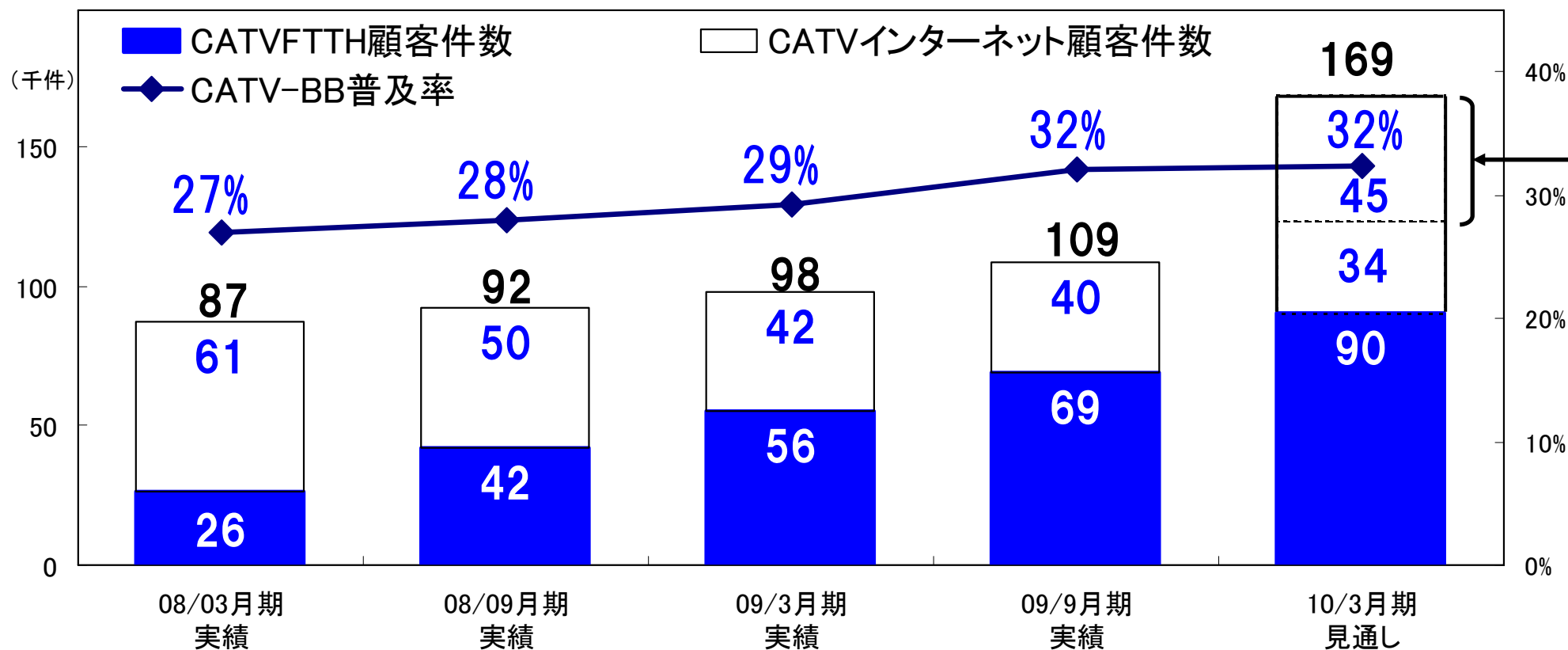


CATVブロードバンドサービスの普及率

■ 10/3月期のCATV-FTTH顧客件数は9万件の見通し。
10/9月期に10万件を目指す。

■ CATVブロードバンドサービス 加入顧客件数及び普及率の推移

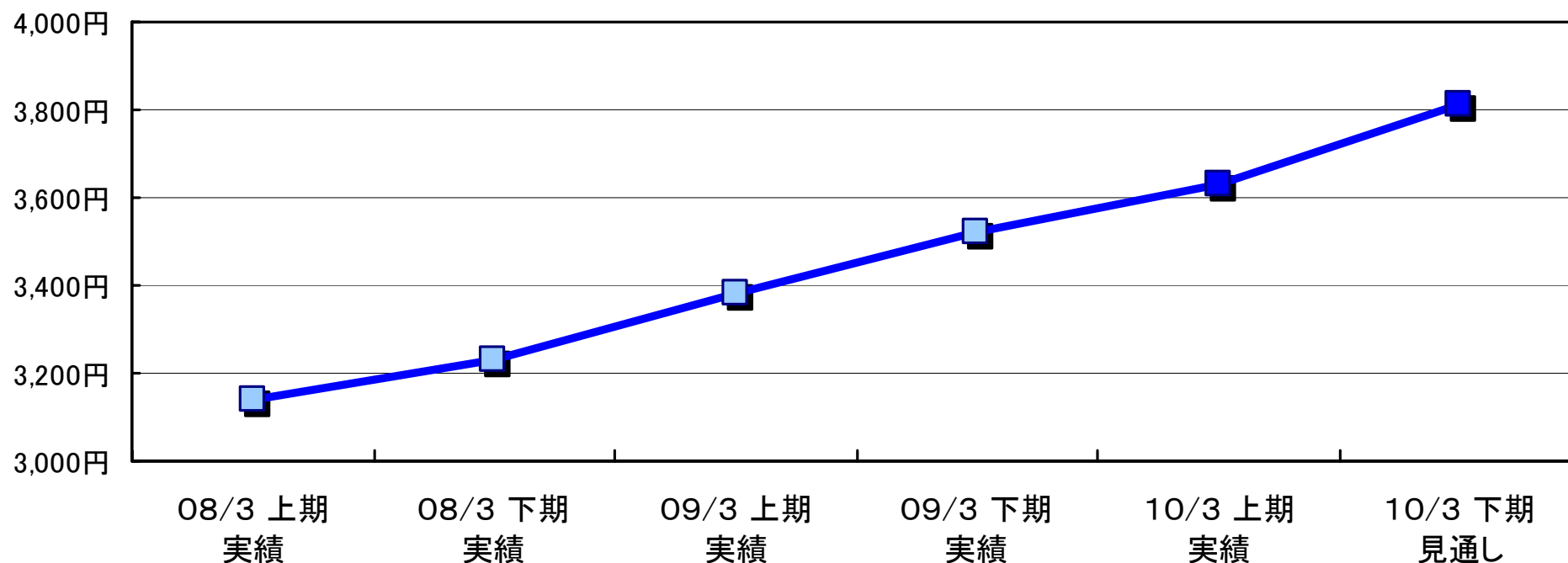
エルシーブイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビ
子会社化による増加分



CATV事業(ビック東海単体)のARPU

■ CATVブロードバンドの普及拡大により、CATV加入顧客のARPUは順調に上昇

■ ARPU (1契約あたりの月間平均利用料収入) の推移



CATV事業 ARPU	08/3期実績		09/3期実績		10/3期実績・見通し	
	上期	下期	上期	下期	上期実績	下期見通し
	3,140円	3,230円	3,380円	3,520円	3,630円	3,810円

※ARPUの定義 =
$$\frac{\text{月次利用料売上合計}}{\text{放送加入総世帯数[再送信のみの加入者を含む] + インターネット単独加入世帯数}}$$

通信サービス事業

ISP(インターネットサービスプロバイダー)事業の内容

プロバイダーとして家庭向けのインターネットや
オンラインストレージサービスの提供など。

@TCOM

主なFTTHサービスプラン



フレッツ光(NTT)のネットワーク
を利用したサービス



auひかり(KDDI)のネットワーク
を利用したサービス

オンラインストレージサービス



PCからでも携帯からでもアクセス、
日記やスケジュール、写真や
動画の保存などに利用



カスタマーセンター



お客様

ISP事業の展開(家電量販店等との連携強化)

取次店でのプロモーションによる圧倒的シェア

- 取次店舗と一体となった獲得施策による信頼関係の構築。
- ブロードバンド顧客獲得に伴う取次店との販売力の連携強化。
- 当社独自の店頭イベントにより来店者数の増加に貢献。
- 獲得活動による顧客信頼度の強化。

関東の家電量販店及びパソコン専門店の店舗に常時200人強を配置。

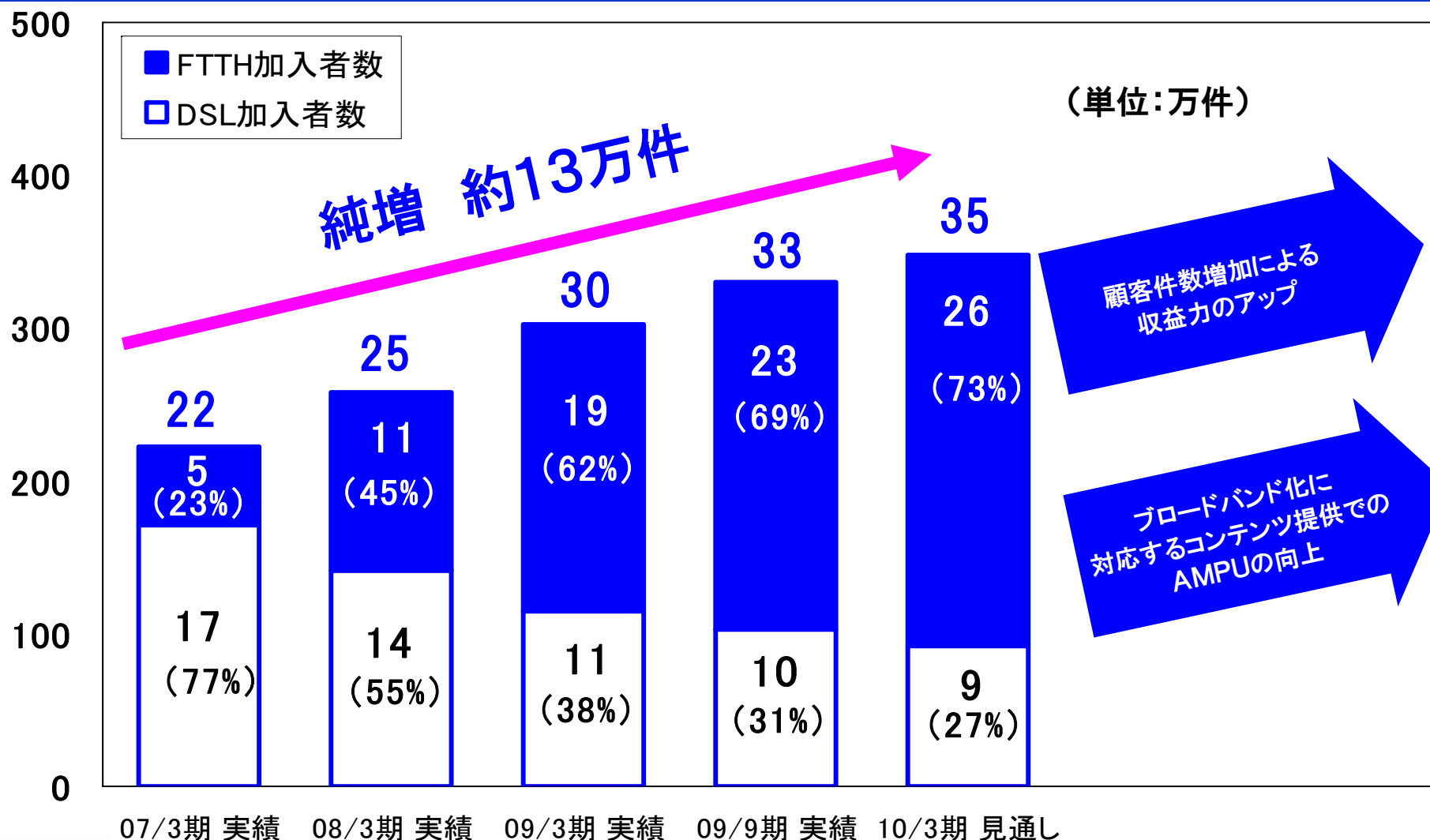
圧倒的な販売力を誇る。



ISP事業の展開(ブロードバンドサービス加入者数の推移)

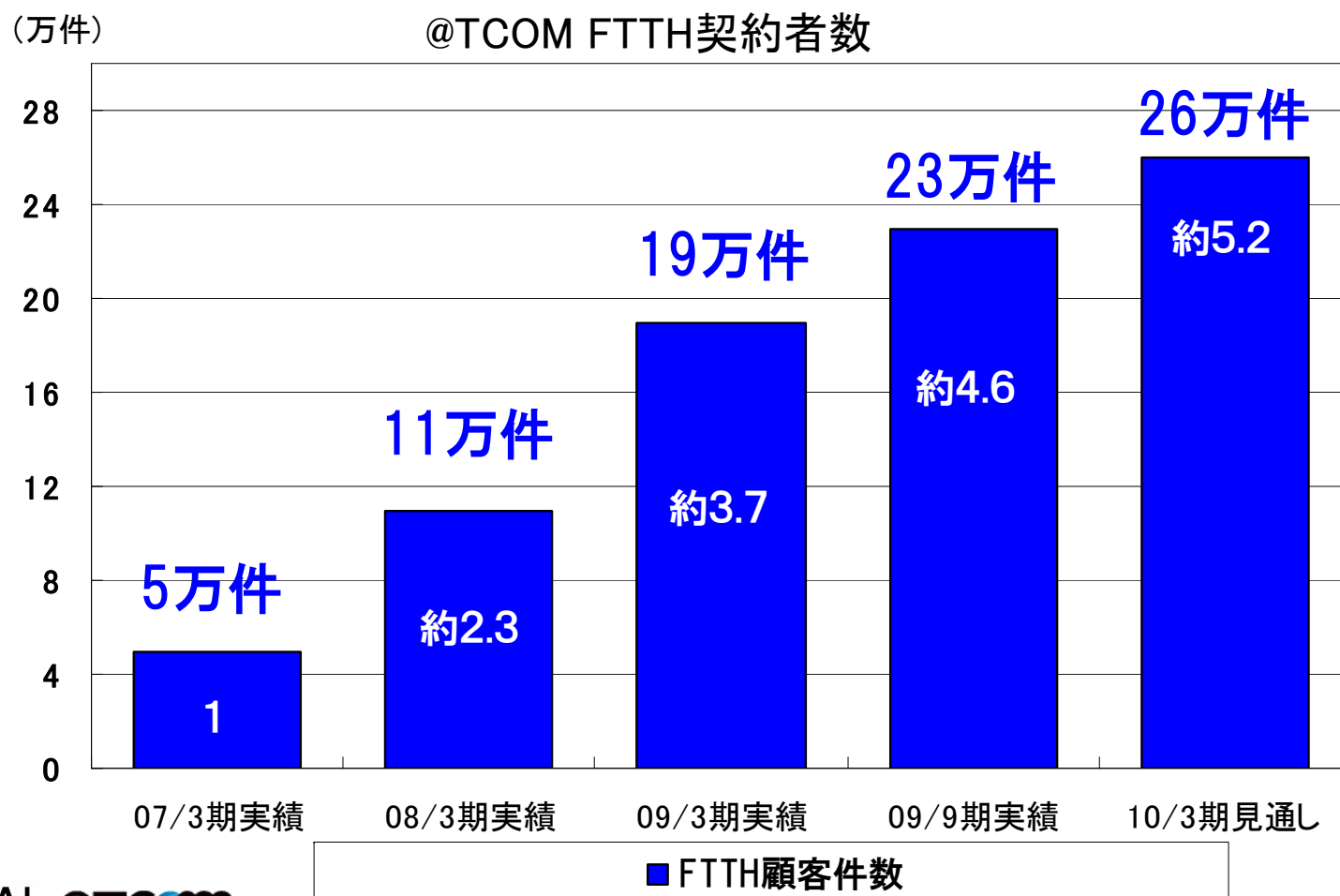
■ 当社の優れた営業力により顧客件数は増加。

⇒08/3期～10/3期の3年間で純増約13万件！



ISP事業の展開(FTTH顧客件数の推移)

■ 当社の 07/3期～10/3期 FTTH顧客件数の伸率は約5.2倍



ストレージサービスの展開

- ISP会員向けのストレージサービスMy@T COMは、保存容量の増加(5GBから10GB)、動画機能の追加により利便性を向上し、10/3期に期末件数14万会員を目指す。



月額315円(税込)

主な機能



デジタルカメラや携帯で撮った写真を大量に保管できる。旅行やビジネスなど用途別に整理も可能。



撮影した動画はPCや携帯で見られる様に自動で変換(エンコード)され、親しい仲間にも公開できる。



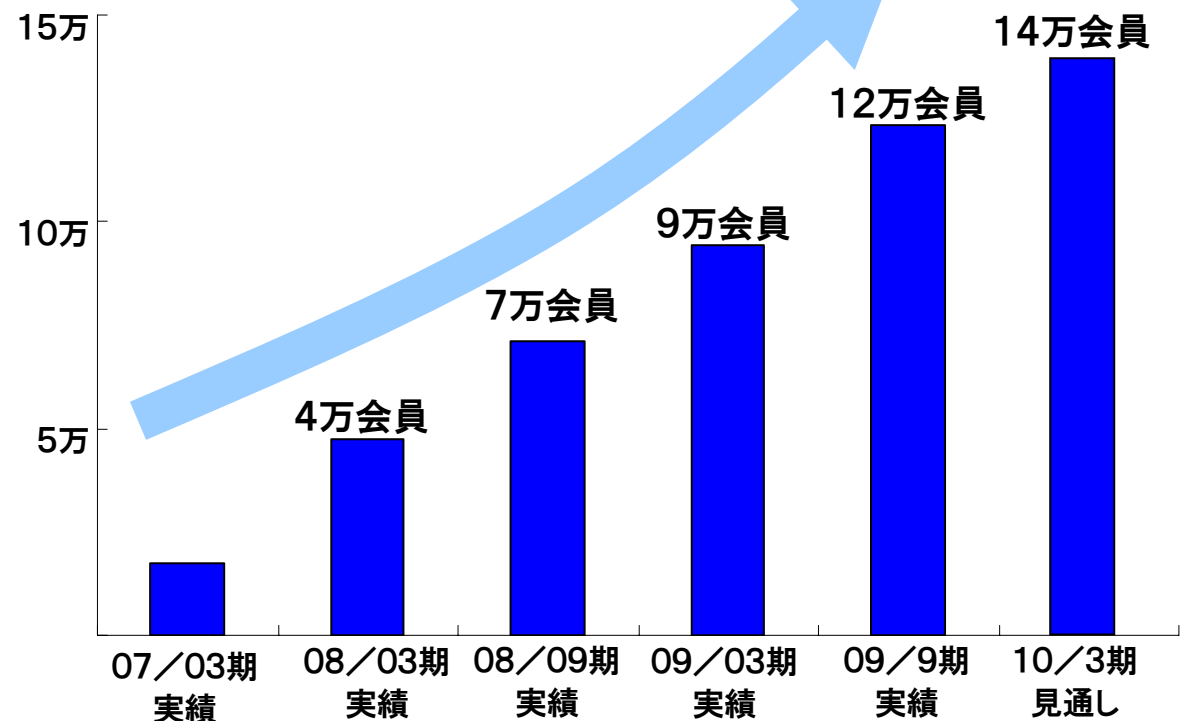
登録したスケジュールは外出先からも確認できる。



毎日の出来事を日記に。携帯電話からメールで投稿できるので簡単。

09/12期のMy@ TCOM機能追加施策

- ・PCと携帯電話に対応した動画機能を追加(11月)
- ・最大保存容量を5GBから10GBへ拡張(12月)



コミュニティサイトの展開

■コミュニティサイト「みなくる」は10／03期の期末件数は84万会員を目指し早期に100万会員を達成する。

■ 総合コミュニティサイト

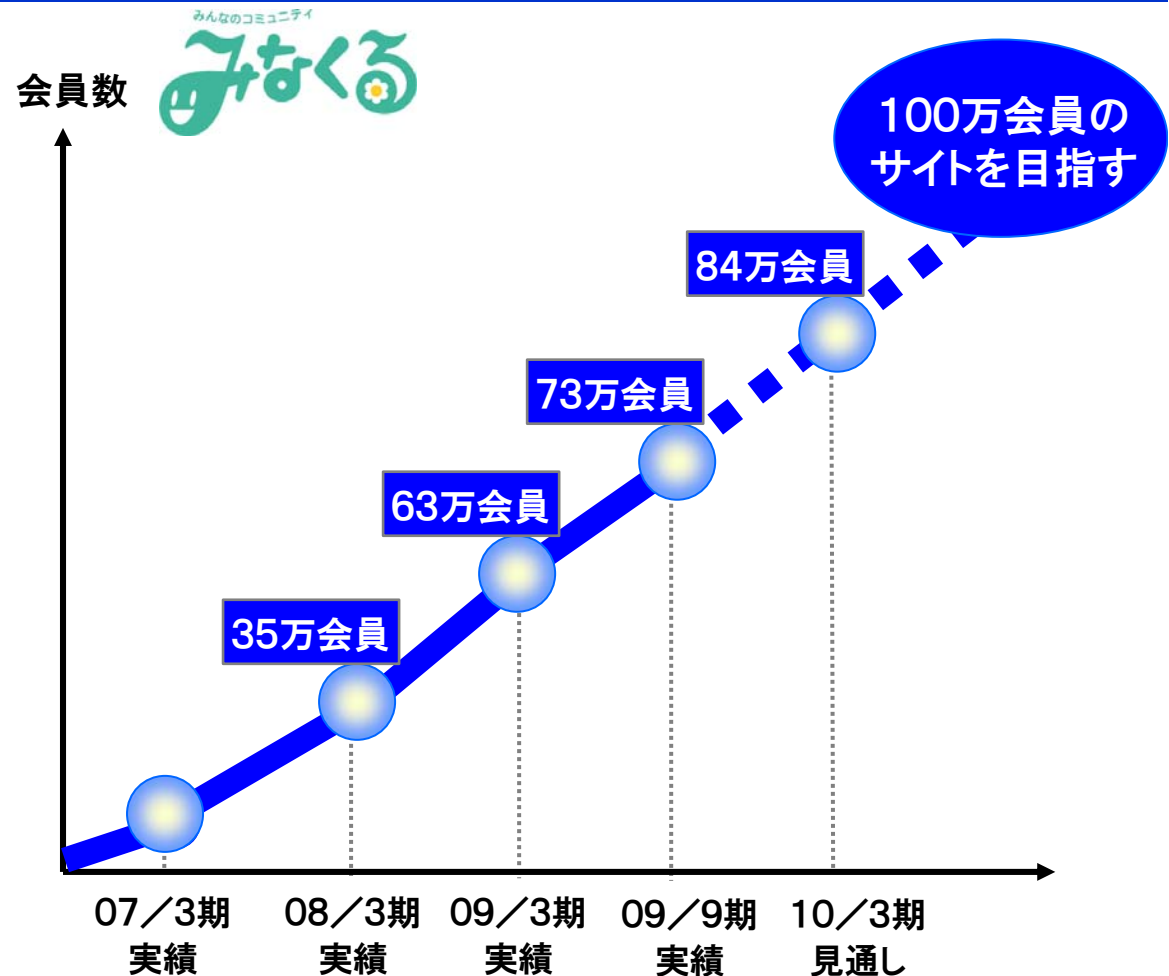
- ・ミニブログサービス(みなログ)
会員が簡単にヒトコト(つぶやく)を書き込むことができるミニブログサービス。



- ・アバターSNS(みなくるホーム)
アバター(自分の分身キャラクター)を作って仲間とコミュニケーションできる。



■09年2月に健全サイトとしての第三者認証機関(EMA)の認定を受けており、インターネット上の違法・有害情報に対する監視を強化した運営をしていく。



情報サービス事業

情報サービスの事業内容

ソフトウェア開発事業、システムインテグレーション事業、データセンター事業。



ソフトウェア開発事業

大規模情報システムに関わる
ソフトウェアの受託開発

システムインテグレーション事業

各企業独自のリクエストに応じた
システムの設計・構築および提供

データセンター事業

自社データセンターを活用した
サーバーハウジング・ホスティング
およびシステム運用



情報サービス事業の概況

■10/3期予想においても増収増益見通し

■ソフトウェア開発事業

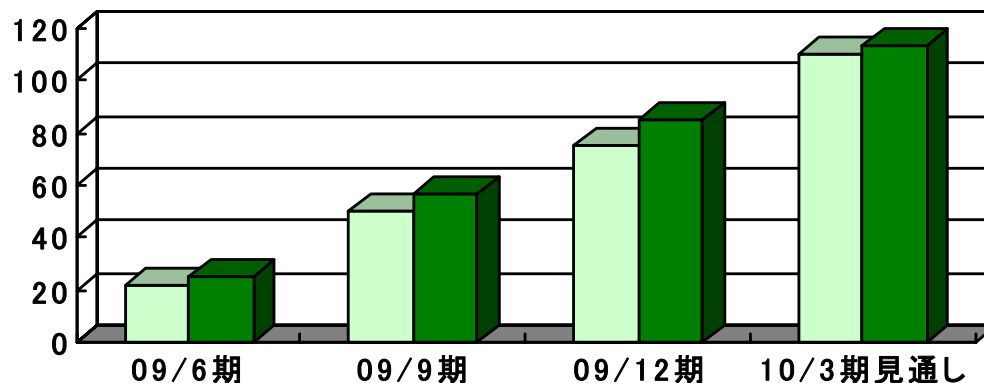
- ・プロジェクト管理強化による品質改善
- ・エンジニアの適正配置による効率の向上

■システムインテグレーション事業及びデータセンター事業

- ・データセンターを活用した、アウトソーシング案件の増加に伴う売上の増加
 - ・ASPサービスなどの積極的な展開による売上の増加
- 以上のストック型の売上が増加したことにより、増収増益

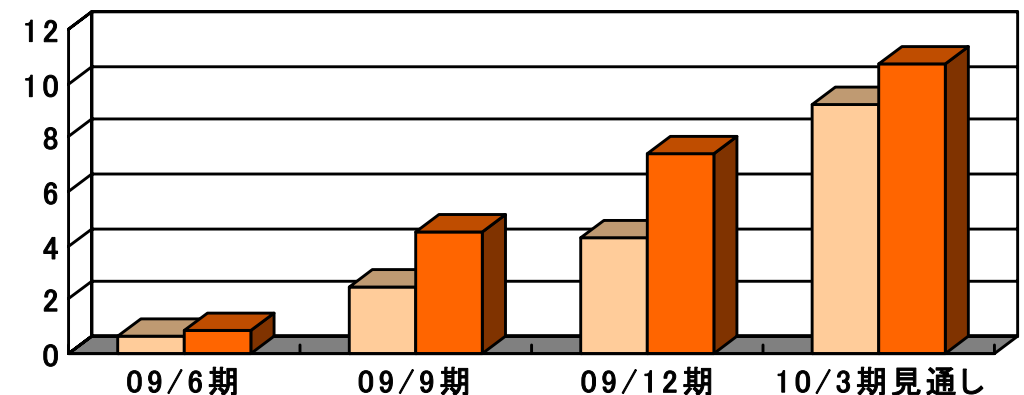
◇売上(単位:億円)

□ 前事業年度 ■ 当事業年度



◇営業利益(単位:億円)

□ 前事業年度 ■ 当事業年度



ソフトウェア受託開発事業

長年に亘って信頼ある実績により、安定した開発案件の受託

当社システムエンジニア
600名



取引先

- ・ (株)野村総合研究所
- ・ 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
- ・ (株)NTTデータ
- ・ 日本ヒューレット・パッカード(株)
- ・ (株)大和総研など
(敬称略)

第2データセンター(08年4月より稼動)

- 地上5階建て、延べ面積8,026㎡と東海エリア最大級。
- 免震構造、電力・通信の2ルート化、無停電電源設備の設置など安全性・信頼性の高い、コンピューターの高密度化にも対応した高規格の次世代データセンター。



サーバ室

24時間有人監視、生体認証、
非接触ICカード、テンキー装置

ストック型ビジネスの拡大／アウトソーシング事業

企業のシステム構築・運用、拠点間の通信回線、情報共有、情報資産の管理などを一手に提供可能

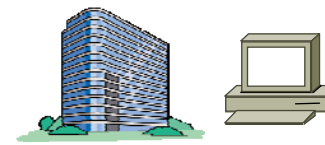
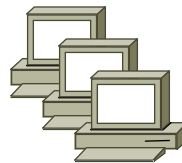
アウトソーシング事業のイメージ



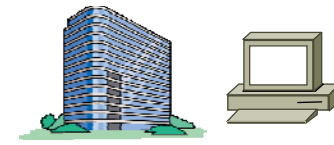
ASPサービス

お客様設備の運用/
ハウジングサービス

データ処理・運用

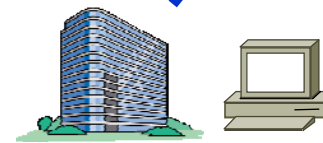


お客様拠点 A

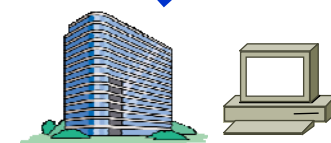


お客様拠点 B

東京-大阪間光幹線網



お客様拠点 C



お客様拠点 D

ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010

IDC部門バリュークリエイション賞を受賞

IDC部門選定委員会において斬新な事業モデルで高付加価値を提供している優秀なデータセンターであるとして高評価。



名称 ASP・SaaSインダストリーコンソーシアム(ASP・SaaSを推進するNPO)

設立 1999年11月

活動内容 ・ASP・SaaSの情報提供、ビジネス支援。
・総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を設置し、
政策・制度の立案。
・中央官庁、自治体へのコンサルティング。
・各シンポジウムの開催。 など

会員数 164社(2010年1月現在)

クラウドコンピューティングへの取り組み

2009年6月からサービスイン

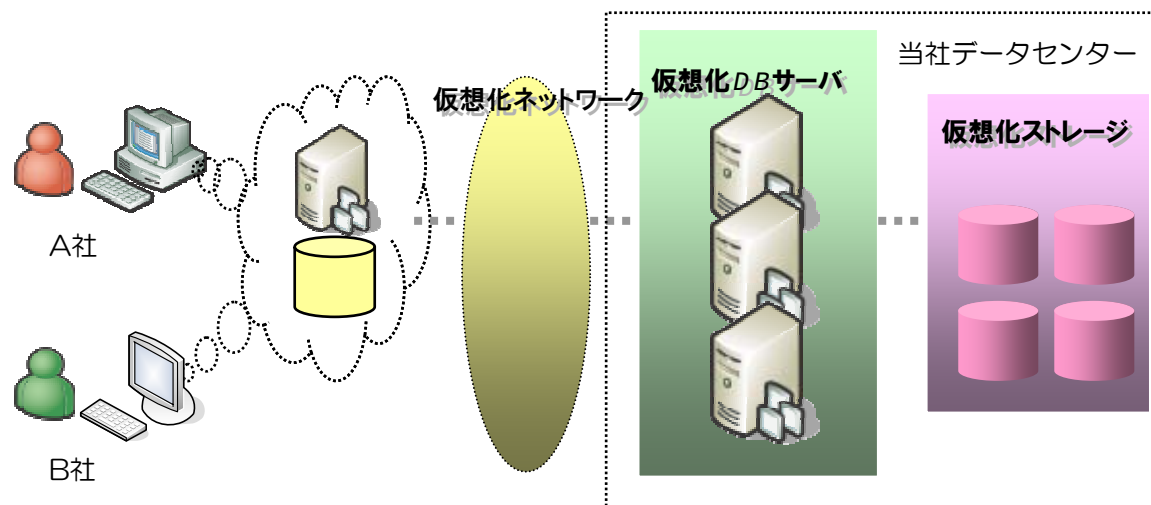
◆大手小売店-メーカー間CRM情報開示サイト

◆顧客購買層情報開示サイト など

当社「企業向けハイスペックストレージサービス」は、
高規格データセンターの大容量かつ高速で処理可能なストレージシステムの機能をシェア
提供するサービス。

大規模データを最短で処理する性能を活かし、データウェアハウスやOracle Data Base
などエンタープライズ向けの業務運用に最適な環境を実現。

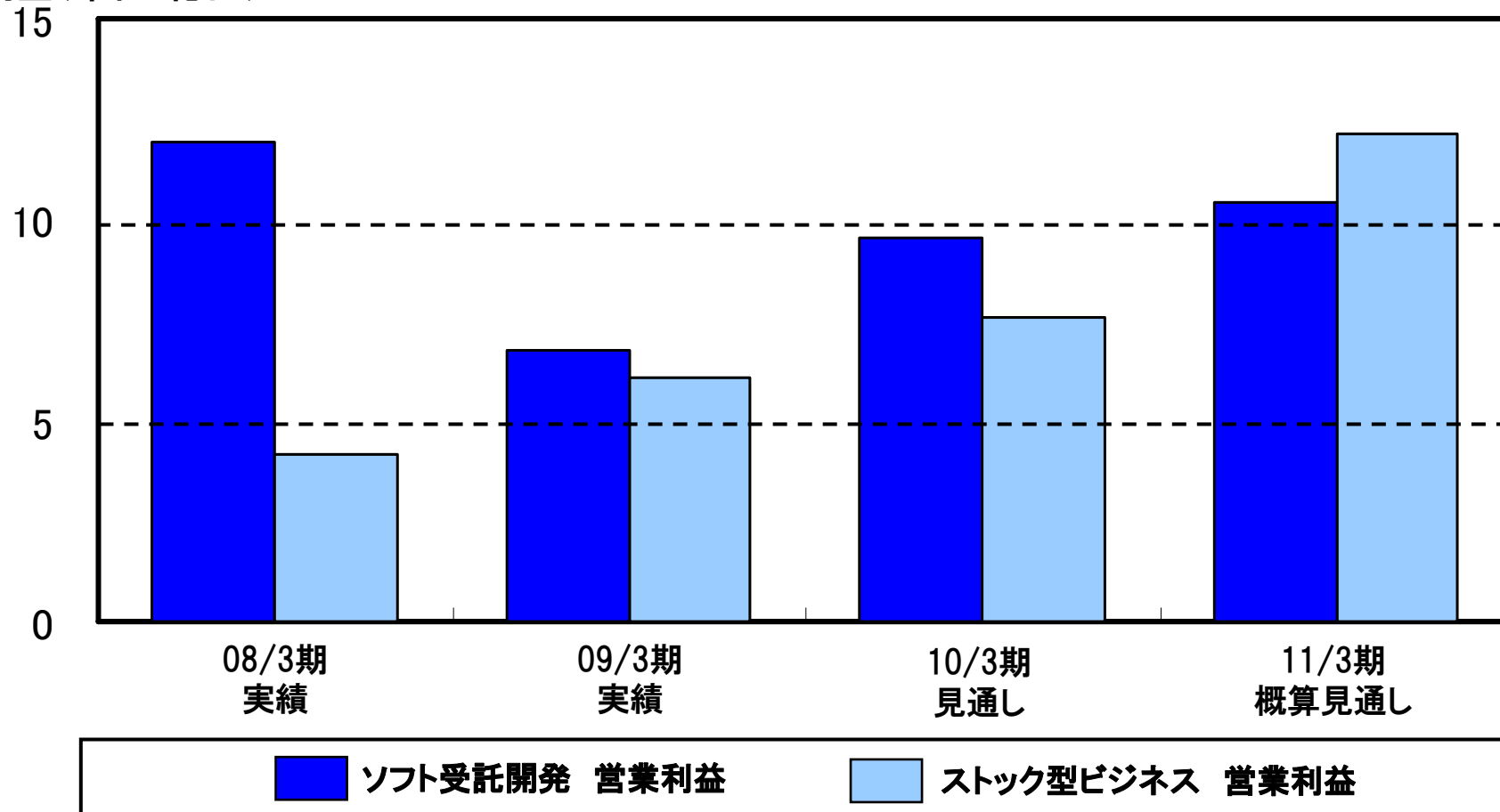
- 企業向け基幹システムインフラ
- 高速データベース処理環境を提供
- 高度なセキュリティを確保



情報サービス事業の成長目標

ストック型ビジネスの拡大に取り組み、11/3月期には営業利益がソフト受託開発を上回ることを目指す。

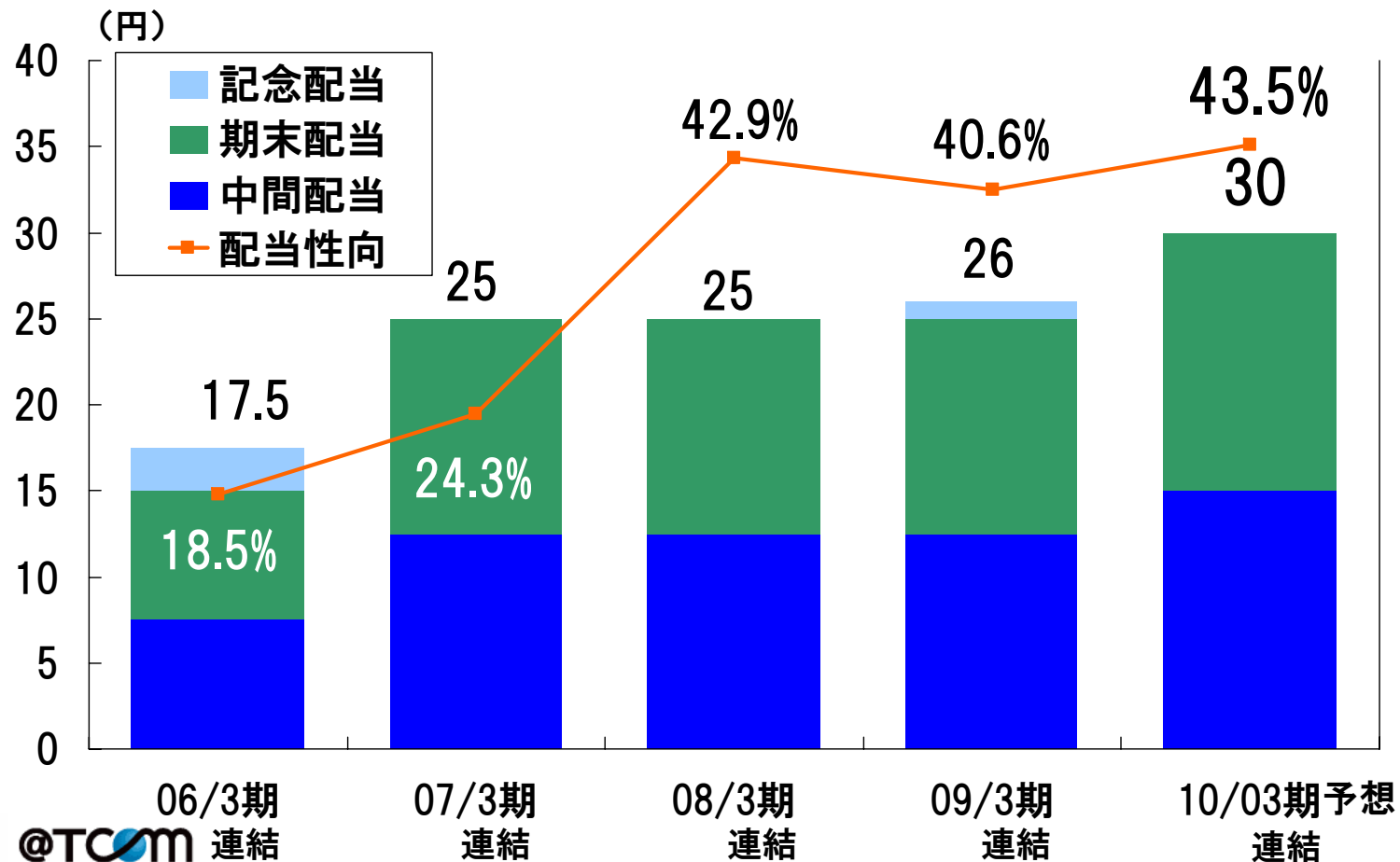
営業利益(単位:億円)



株主還元

株主還元

10年3月期の年間配当は
普通配当30円(中間配当を含む)、4円増配を予定



本資料に記載されている将来に関するすべての記述は、当社グループが現在入手している情報に基づく現時点における予測、想定、期待、評価等を基礎として記載しているに過ぎません。また、予想数値の算定には仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、客観的には不正解であったり将来実現しない可能性があります。

その原因となる潜在的リスクや不確定要因としては

「平成21年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与える要因は「事業等のリスク」に記載されている事項に限られるものではないことをご留意願います。

また、本資料・記載データの無断転用はご遠慮下さい。